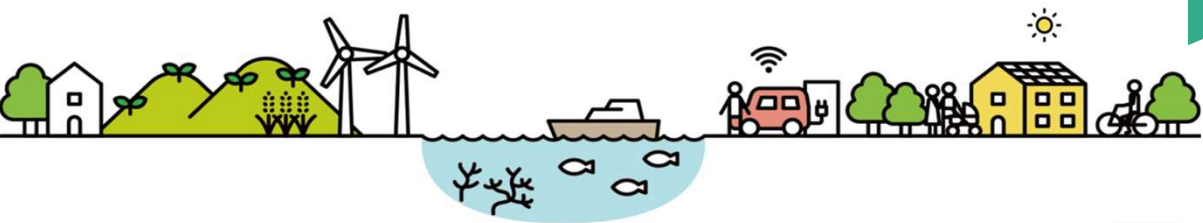


# 防府方式による藻場の環境保全と再生、海の未来づくり



期間  
2023年2月～現在

場所  
山口県防府市中浦漁港南東部、他

申請者

- ・ うみのまちづくり（株）
- ・ 山口県漁業協同組合吉佐統括支店
- ・ 一般社団法人 鋳田籠工法協会

概要

鋳鉄藻礁、種糸、石材、MOFU-DX（鶏糞を利用した栄養ブロック）を複合的に組み合わせた藻場再生を防府方式と命名し、実証を行った。  
ジャングルジム状の藻礁内部に海藻の付着した石材とMOFU-DXを投入し、各藻礁間にクロメを植え付けた種糸を張り巡らせた。  
その結果、藻礁での海藻の生成のみならず、かつて藻場のあった周辺部にもその再生が認められた。

【2023年度取得】藻場面積：0.226 ha、二酸化炭素吸収量：0.3 t  
【2024年度】 クレジット申請無  
【2025年度申請中】藻場面積：0.539 ha、二酸化炭素吸収量：1.0t



活動	
2023年2月	中浦に鋳鉄藻礁8基沈設 ベースライン計測
2023年6月	中浦にて藻場計測
2024年2月	0.3tのクレジット認証取得
2024年10月	食害魚捕獲・販売開始
2024年11月	野島に鋳鉄藻礁5基沈設 富海に鋳鉄藻礁5基沈設 中浦・野島・富海のベースライン計測
2025年1月	アイゴサミット開催
2025年5月	中浦・野島・富海の藻場計測

- 2023年度から2025年度は2か所実証地を増やして取り組みを行ったが、富海は計測の結果、藻場の成長が見られず中浦と野島での申請となった。
- 2024年度は、予算の都合上クレジット申請は実施していないが、モニタリング等の活動は継続、2024年秋からは食害魚であるアイゴの捕獲と社員食堂等への販売を開始した。